

二十四分会（本所）
武松輝男

悲しさを語りつぐ

しかし、それ以上に資本をふやまちはくり返しませんから」さ忘れる」とあります。戦争を



メモ

四月の生活メモ

第七回世界保健機構（WHO）
成立を記念した世界保健デー。八

目と来つ。十日は、昭和二十一年三月から四月にかけては寒

二十分会(三川)

うす紙に覆われし顔はずしつひな段飾る妻とみたり子
年に一度の出会いとぞねむごろに猶より出だすおびなとめびな
飾り終へひな見上げいるみたり子よばんばりもほのかに灯る夕暮れ
梅林寺去年（こぞ）は行きしが行かざりし今年は散歩の途中に見たり

24・25分会が合同で
盛大に団結旅行



集まつてきました。

会は「炭掘る仲間」の合唱で始まり、平川実行委員の司会で進められ、実行委員会・松岡さん、執行部・杉本部長、主婦会・平川さん、政治局・民本市議、退職者の会・藤本さんからそれぞれあいさつがあり、参加者中最高年長の伊藤さんの音頭で乾杯。歓談がつづくなかで、実行委員会の肝入りで空くじなしの福引きがあり、参加者から書はれました。また、ほどよく酒が入ると、歌がどび出し、にぎやかな雰囲気でした。

三月二十一日と二十二日の三日間、二十四分会と二十五分会の合同一泊旅行が玉名保養所で行われました。この団結旅行は、毎年行われているもので、退職者を交えて家族ぐるみというところがいいところです。

この日は五十一人の参加でしたが、十一時三十分からの開会に、各人の車に乗り合わせて早くから、そくまで語り合いました。

「この会が一番の楽しみだ」と語る退職者の方は、退職後十五年ということでした。日帰りの方もいましたが、一泊する面々は夜お

写真展のご案内

このたび、三池労組の写真しく。

サークルの第二回目の写真展
を組合事務所で開催します。
会員はもとより、組合員の
さい。
期日 四月五日（月）から
皆さんの多数の出品をお願い
また各賞を設けてあります
ので、ふるって参加してくだ

しします。 四月十日(土)まで

すぎな作品を三点選んで一般 までに組合事務所へ。

三浦学紹 空真サトル
 会長 黒田 勝儀
 になった皆さんの投票をよろ

【連合】